



下水道の豆知識

下水道が整備されることにより、個人の生活環境が向上したのはもちろんですが、川や海などの自然環境の保全にも寄与するなど、下水道が行う事業の中には、公共性が高く、利用者以外の方にも効果が及ぶものが少なくありません。

このように、下水道事業は、公共的役割の高さから、毎年、国の示す一定の基準に基づいて、市から補助を受けており、使用料で経費をまかなうことを基本としつつも、経費の一部については、補助でまかなわれています。

下水道は利用者の皆さんの使用料で支えられています



道路や学校、集会施設など、自治体が提供する公共事業の多くは、税金でまかなうのが一般的です。

しかし、下水道は、他の公共事業とは異なり、全ての市民が同量の効果を受けるものではなく、個人で利用した効果が明らかで、対価が高いという特徴があることから、自治体が経営する『公営企業』として運営しています。公営企業は、民間企業と同じように、事業を行うために必要となる経費は、

利用者の皆さんからお支払いいただく使用料でまかなうことが基本となっています。

私たちの生活環境の向上、そして自然環境の保全に大きな役割を果たしている下水道は、利用者の皆さんの使用料で支えられていますので、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

なお、市では、下水道使用料を、月々の水道の使用量に応じて負担していただいております。水道料金とあわせて2カ月ごとに請求しています。

※下水道に流される量をメータで量ることができないため、使った水の量をもとにして、一カ月の下水道使用料を計算しています。

下水道を維持するため計画的な経営を行っていきます



下水道は、市民の生活環境の維持や自然環境を保全していく上で、途切れることなく継続して経営していかねければならない公共事業の一つですが、今後、市の人口は減少していくことが予想され、下水道利用者の減少や使用料収入の減少が見込まれます。

市の下水道の整備状況については、利用区域を拡大するための建設事業は、ほぼ終了しており、すでに設置した下水道管などをできるだけ長く使えるよ

う、適切に維持管理を行うとともに、老朽化に伴う更新に備えるなど、計画的な経営を行っていかねばなりません。

このため、市は、昨年、今後12年間の経営見直しや経営健全化のための取り組みを『下水道事業経営戦略』としてまとめ、使用料見直しの必要性について検証しました。

その結果、今後12年間に約12億円の資金不足が見込まれたことから、平成30年1月1日に下水道使用料を引き上げることとしました。今後市は、市民生活に不可欠な下水道を維持するため、計画的な経営を行ってまいります。

もっと知りたい 下水道のこと

市は、平成30年1月1日に、下水道使用料の改定を行うにあたり、利用者である市民の皆さんに、改定の内容や改定が必要となった理由などについてご理解いただくため、住民説明会を開催するほか、希望により出前説明会を行います。

住民説明会

日時・場所

- ◎9月27日(水)・婦人センター2階講堂
 - ◎9月28日(木)・鷲別公民館2階ホール
 - ◎9月29日(金)・市民会館1階大会議室
- ※いずれの会場も、昼(14時～)と夜(18時～)の二部制です。
※申し込みは必要ありませんので、ご都合のよい会場にお越しください。

出前説明会

開催日時・場所 応募団体の希望日時・場所

※都合により希望に添えない場合があります。

対象 5人以上の団体・グループ

申し込み 応募要領を参照の上、開催申込書を下水道グループへ提出

※応募要領と開催申込書は、下水道グループに備え付けしているほか、市公式ウェブサイトに掲載しています。